




論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第756号	氏名	川崎 貴子
学位審査委員	主査	伊藤 公成	
	副査	原 宜興	
	副査	筑波 隆幸	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、骨や靭帯の再生における細胞源として歯根膜組織を用い、低酸素刺激を一過性に与えることで細胞の可塑性を高めようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 この種の研究成果を左右すると考えられる種々のバイアスを可能な限り除外するようにデザインし、更に種々の遺伝子解析及び組織標本にて解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、種々のバイアスを可能な限り小さくしても、低酸素刺激を歯根膜細胞に一過性に与えることで細胞の可塑性を高めることを明らかにし、今後の再生研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は再生研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと